

岐路に立つ日本

未来を決める投票 シリーズ2

アベノミクスは失敗だった！

アベノミクス2年を振り返ると、異次元緩和で物価を上昇させ、円安を加速しさらに消費税増税を行い企業や富裕層を富ませました。一方国民はさらに苦しい生活に追いやられました。目立ったのは経営者寄りの政策ばかりで、残業代ゼロや派遣労働の増大・固定化につながる法改正には力を入れるが、経済弱者を救い上げる発想は無きに等しかったのです。

円安を加速することで輸出企業に活力を与え日本を元気にして70年代の好景気を目指したのですが、現実には企業はすでに海外進出していて輸出が伸びるところか貿易赤字が増大しました。財政のみならず経済も赤字という以前のアメリカのような赤字国家を作ってしまいました。

また円安で燃料費が高騰し、電気・ガス料金の値上げ、小麦などの輸入食料品の高騰でスーパーのすべての物が値上がりしています。さらに消費税で生活苦は追い打ちをかけています。もちろん、物価の上昇に見合うだけ、賃金が上昇すれば問題はなのですが、そんなことはあろうはずもなく、低所得の若者層ほど生活苦を強いられることになっています。

安倍政権にNO！

この政権にNOを突きつけなければさらに生活は苦しくなっていくことでしょう。アベノミクスは失敗だったのです！

投票に行くことで自らの意思表示をしましょう。一票では何も変わらないかもしれませんが、投票しなければかたはく絶対に変わらないのです。

一票投じ現状変えよう
高木由美子 会社員 投票所で書く名前は自由だ。
(名古屋千種区) 58歳
なぜ今、衆院選なのか？ 弱い立場の人が、選挙に急に入ると言われても、行っていないのではないかと。自分たちが持っている権利を無駄にしてはいけません。自分が一票で何も変わらない、という声もあるが、そうだろうか。
選挙に今まで行っていない人が皆行ったら、世の中は変わる。やはり入れた人がいなければ、白票を投じようと思う。意思を示せば、政権の考えも変わるかもしれない。やっぱり、今だから選挙に行くのは公平に与えられている。

西家 珠美 家事手伝い
(岐阜県多治見市) 31歳
衆院選が始まりました。私は二十歳のころ、政治はどうか自分とは関わりがないので行われ、どうせ何も変わらないからと目を向けることもせず、目の前の生活が優先だとばかりに仕事をしていた。
しかし、それはもったいないことをしているのだとある時、気が付きました。両親との会話の中で政治の話題が出てくるにつれ、話が出てくるにつれ、もっと情報を得て自分なりに意見を持ちたいと思ってきました。それから新聞を必ず行き、一票の責任を果したいものです。
一票の責任を果たそう
つくり読み、ニュースで解らずようにしています。意見表示をしなければ何も伝わりません。後世に投票に行く姿を見せるのも大切な役目だと思います。
今回の衆院選も大切な選挙です。十四日の投票日には、一人一人が投票に行き、投票率を上げるように